



りすぐみだより 10月号

さわやかな秋風によって、金木犀の甘い香りが感じられるようになりました。子ども達はバギーに乗って散歩へ出かけると、稲刈りの様子を見たり、ネコジャラシや椿の実、イチョウの葉を触ったりして秋の自然を感じています。



北園庭で遊んだよ!

北園庭で巧技台やゴムくぐり、電車ごっこをして遊びました。北園庭は初めてだったので、子ども達は辺りを見渡して“なにをしようかな?”と考えていました。ゴムくぐりの近くへ行くと手と頭をゴムの下に入れてくぐったり、手足を上げて跨いだりして通っていました。お尻が上がりすぎて通れないこともありましたが、手をついて1歩ずつ前へ進むと“できたよ!”と自慢気な顔を見せてくれました。

Aさんは電車ごっこをしている友達を見つけ、自分もしてみようと電車の紐を持ちました。“電車はついてきているかな?”と何度も後ろを確認しながら紐を引いて歩いていました。

体を動かすことが大好きなりすぐみの子ども達、これからもいろいろな動きを取り入れて遊んでいきたいと思えます。



家庭での「遊び」レシピ



① 絵本を読む

絵本を開くだけで、言葉のやり取りができ、物語の世界へ連れて行ってくれる魔法のツールです。膝の上で大人の声を聴く、それだけで安心感も得られ、情緒も落ち着きます。また、子どもが何かに興味を持ったら、一緒にそのことについての本をみってみるのもいいかもしれませんね。

② ふれあう遊び

子どもにとって、ふれたり、ふれられたりすることは大切です。スキンシップを通して、その人との良好な関係を築きます。たくさんのスキンシップを通して、子ども達はきっと「自分が愛されている」という強い実感が残ると思います。

③ お手伝いを遊びに

少し大きくなってきて、「自分で!」「いや!」が多くなってきた子どもには、お手伝いがおすすめです。家で役に立つということが子どもの自己肯定感を育みます。

④ 自然と遊ぶ

乳幼児期には、体を動かすことがとても大切です。どんどん外へ行きましょう。自然の中で遊んでいる時、子どもは知らず知らずのうちに五感を研ぎ澄ませ、様々な事を学んでいます。